



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ 照らされて

被災地の現状・人々の声

梁河文昌



〔略歴〕
1967年 茨城県生まれ
東京都区正蔵寺副住職
NPO法人災害ボランティア
ネット 代表理事

2011年3月11日、
大多数の犠牲者と甚大な
被害をもたらした東日本
大震災から今年で6年を
むかえました。

被災された方々は大切
な人やものを多く失いま
した。家・家族・故郷・
友人・学校、それまで暮
らしてきた場や大切なも
のを失った喪失感。人そ
れぞれ大切なものは違
うと痛感しています。「津波
で死んでしまったほうが
よかったのではないかと
考えてしまっているか、
いつか耳にしてきた言葉
何度か耳にしてきた言葉
です。海や大地と共に生
きてきた方々にとって、失
われたものの大きさは量
り知れません。海から遠
離れた仮設住宅での生活
は、「海が見られない」風
景を失った現実も喪失体
験です。そうした、大切

なものを失った「喪失体
験」に耳をかたむける事
が必要だと思います。
福島第一原発事故による
災害は未だ進行中で、放
射能の影響を受けながら
の生活を余儀なくされて
いる人たちがいます。故
郷に戻れるのか、子供た
ちや妊婦にとって安全な
のか、福島の方々は常に
先の見えない不安の中
での生活を余儀なくされ
ています。福島から避難さ
れた方々、残って生活を
せざるを得ない方々、事
情は人それぞれで、地
域・学校・職場・家族の
関係も様々です。

2011年3月11日震
災発生後の月末、宮城県
南三陸町と石巻市の避難
所へ、地元のお寺の若者
数名で物資を届けました。
当時の光景は言葉が失
うほどの凄まじさでした。

か、どんな支援が出来る
のかという模索する
なか、お一人の被災者の
声がありました。「温か
いものが食べたい」と。
このお一人の声が炊き出
しの支援につながりまし
た。私たちの活動は主に
炊き出しです。その目的
は食を囲んだコミュニ
ティ(共同体)づくりで
す。避難所から仮設住
宅に移る時に、コミュニ
ティが維持できるように
集落や町内別に居住す
ればよかったです。行政
は順番にクジを引かせ
て、個別に仮設住宅への
入居を決めました。その
結果、コミュニティが解
体してしまったのです。
今年が経過し、仮設
住宅での生活が限界を
むかえています。仮設住
宅で生活されている方々
は、集える場を望んで
います。「忘れられるこ
とが辛い」、「忘れないで
ください」それはいのちの
叫びです。改めてこの震
災を心に刻み、そして被
災者と支援者を超え、共
にいのちが響きあう世界
を願い、息の長い支援活
動を続けていくことが大
切です。

今後、仮設住宅から復
興住宅へ生活の場が変わ
ていきますが、今度は今
まで仮設住宅で築いてき
たコミュニティが解体さ
れ、「孤立」「孤独」が
問題視されてきます。ど

のようにコミュニティを
再構築していったらいい
のか? 今後の大きな課
題となります。
新潟中越地震では、
震災から5年以上経過
し、自殺に追い込まれる
人が、被災人口率の50%
に及んだと伝えられてま
す。さらに継続的な「人
と人をつなぐ」支援が必
要です。
最後に、活動報告や支
援金のお願いをホームペ
ージにてお知らせしてお
りますのでご覧ください。
<http://saigai volunteer.net>
または「茨城災害ボ
ランティアネット」にて
検索して下さい。



おしなや
くもきき
「永代経」って何やな?
そついうお経があるんかな?

問
永代経というのは、「お経」
の名前ではありません。永代
経は、「永代読経」とも言われ、文
字通り永く読経・法要が勤ま
っていくことを意味します。大切な方を
亡くされたご遺族には、「お経をあ
げ続けてもらって、亡き人を手厚く供
養したい」という切実な思いがある
と思います。しかし、住職にお経を
読んでもらって「亡き人にお経が届
いた」と実感されたことはおありで
しょうか? また、亡き人の本当の願
いは「お経が欲しい」ということな
のでしょうか?

ののでしょうか?
真宗の僧侶である高光大船という方
は、こんなお言葉を残されています。
「拝むということは、拜まれている
ことに気付き醒めること」
法要に身を運び、読経により仏さ
まの教えに触れて欲しいと願われて
いる(拜まれている)のは、今を生
きている私たちなのです。永代経と
は、私たちが亡き人をご縁として仏
さまの教えに出遇うための「法会」
といってもよいでしょう。
この法会が永く相続されることを
願ってお納めくださるのが「永代経
志」です。私たちへ、子孫へと、「教
えを聞くことの大切さが永代にわ
たつて伝えられていくように」とい
う願いによって、法会が絶えること
なく続き、教えが私たちに届けられ
ているのです。

飛驒の真宗 伝承散歩 ② 照蓮寺の移転

一五八五(天正十三)年、金森長近は
武力によって飛驒一国を平定しま
したが、国の統治は、もはや武力をも
つては成しえないものと考えました。
千国の乱世によって疲弊した領民の復興を急務と
考え、城下町の経営によって商工業の発
展を図る一方、山林と地下資源の開発に
も力を入れました。
武將としての長近は、一向一揆や石山
合戦において本願寺の門徒たちの抵抗を
目の当たりにしてきました。そのため飛
驒進攻に際し白川郷の真宗教団の実力を
知った長近は、照蓮寺を飛驒の西の片隅
に置いておくことは、国を統治するにあ
たり不安を残すと考えました。一方で長
近は、照蓮寺十三世宣明のことを、門徒
をまとめるのに優れた力を持っていると
認めていました。
そこで長近は高山城下へ照蓮寺を移
うとしました。宗教政策ばかりでなく、
戦乱の荒廃から民衆の心の安定を図り、
統治の精神的基盤を培わなければなら
ないと考えたのです。

いと考えたのです。
今の高山市大門町から江名子川沿いは
安川原と呼ばれ、宮川がたびたび氾濫し
たため湿地帯でした。この地にはかつて
照蓮寺十二世善了が安川道場を建てて、
照蓮寺から離れた地の門徒のための道場
とし、布教に努めたといわれます。長近
はこのことを重視し、高山御坊造立のた
めに一万二千坪を埋め立てて寺地を造
成しました。
現在でも、
別院境内を囲
む石垣や、防
衛のため鉤の
手状に直角に
曲げられた道
などは城郭風
の造りとなっ
ており、当時
の面影をその
まま残してい
ます。



蓮池から望む境内石垣と本堂

☎テレホン法話(0577)34(2313) ☎3月21日〜31日:小原正寛氏「専念寺」 ☎4月1日〜10日:長谷頭信氏「蓮光寺」 ☎4月11日〜20日:平野素浄氏「速入寺」 宗教トラブル相談窓口(0577)3210763

私を照らす

ひかりの言葉 ⑱

酒井 義一

阿弥陀さまの心

阿弥陀さまの心は「えらばず、きらわす、みすてず」(竹中智秀)だと教えていただきました。

人間は、本能的にそのような世界を求めずにはいられない存在なのではないでしょうか。

自分さえよければいい

ところで私たち人間には、「自分さえよければいい」という心が根強くあります。

自分さえよければいい この悲しさ

これは、誰の中にもある「自分さえよければいい」という心を、「それはとても悲しいことだぞ」と教える呼び声であります。

私は心配します

アメリカのトランプ大統領は、アメリカ第一主義を掲げ、人種差別発言や、メキシコとの間に壁を建設すること、特定の国の入国禁

止令などを出し、世界を騒がせています。

人を選び、嫌い、見捨てていく政策が、堂々と行われているのです。まさに「自分さえよければいい」の世界、煩惱むき出しの行ないと言ってもいいでしょう。

また、日本の安倍首相も、この動きに無批判にすり寄り、蜜月ぶりを世界にアピールしました。

私に心配します。大きな流れに流されて、この国が再び「自分さえよければいい」という考えのもと、過ちを犯してしまうのではないか、と。

私の生き方が問われている

世の中の動きから、実は私の生き方が問われているのです。世界の大きな流れに逆らわずに迎合し、「自分さえよければいい」という世界を生きてしまうのか。それとも、そのことの悲しさに目を覚まし、人々と共なる世界への歩みをすすめていくのか。

時代に流されない

人を選び、嫌い、見捨てることが堂々と行われる世の中だからこそ、大切にしていきたいことがあります。

それは、長い人類の歴史の中で

多くの人々が求め続けた、「えらばず、きらわす、みすてず」という仏さまの世界を、この私が求め続けていくことです。

時代の流れに流されてはいけません。道を求めることを諦めてはいけません。選び、嫌い、見捨てるときに飲み込まれてはいけません。

安っぽい喜びや安心とは、私たちが陥りやすい「自分さえよければいい」という世界なのでしょう。そのような安っぽい喜びや安心に逃避することをよしとせず、時代の大きな流れに流されず、安っぽい信仰を打ち破る浄土真宗に出遇うべき時です。



今回は藤場芳子さんの「女と男のナムアマミダブツ⑱」です。

春の彼岸会

永代経法要

午後1時から勤行・法話 20日(月)竹田 雅文氏 21日(火)江馬 雅人氏 22日(水)四衛 亮氏 23日(木)坂上 祥司氏

高山別院

蓮如忌法要

日時 3月25日(土) 午後1時から 講師 藤原 千佳子氏 (金沢教区浄秀寺) 講題 念佛申さるべし

高山2組若声会 連続公開学習会 (第一回)

日時 4月19日(水) 午後7時半から 会場 高山別院御坊会館 講師 海 法龍氏 (東京教区長願寺)

内容 歎異抄第十章 テーマ 如来の真実義 聴講料 500円

初まいり式

日時 5月7日(日) 午前10時~11時 対象 3才以下のお子さま 参加費 3000円 (記念品代込)

会場 高山別院本堂 申込期限 4月20日(木) ※詳細は高山別院またはお手次寺にお問い合わせください。 主催 高山一組

真宗教学学会

高山大会

日時 5月18日(木) 午前10時から 午後4時

会場 高山別院 研究発表(午前) 高山教区教化研究所員 記念講演(午後) ①草野 顕之氏 (真宗大谷派副講) ②安富 信哉氏 (真宗大谷派講師・真宗大谷派教学研究所長)

主催 真宗教学学会 共催 高山教区 ※昼食は各自でお取りください。お問い合わせは高山教務所まで。



中村久子常設展示 コーナー

場所 高山別院寺宝館 (本堂よりお上がりください) 開館時間 午前9時~午後4時 入場料 無料 関連書籍・DVD取り扱いはあり。 問い合わせ 高山別院

今月の一冊

『お斎レシピ』

みんなでおいしい精進料理 (東本願寺出版)



1,944円(税込)

東本願寺で大切に守り継がれてきた「お斎」のこころはそのままに、料理番組でも大人気の京都で生まれ育った料理家・大原千鶴さんが日々の食事にも使えるレシピにアレンジしました。 4月に発売予定!ご予約受付中です!

春の法要 真宗本廟 (京都東本願寺)

4月1日(土)~4日(火)お参りください

東海連区同朋の会推進交流研修会

日時 4月25日(火)13時30分~26日(水)12時まで

テーマ 念仏の道場 — 三つの直参門徒 — (じきさんもん と)

講師 三島 多聞 氏 (高山1組真蓮寺住職)

会場 高山別院 (御坊会館)

※申込書・要項は教務所にありますので、ご参加いただける方は高山教務所までお問い合わせください。

主催 東海連区推進員連絡協議会 (当番:高山教区真宗同朋会)